

平成 28 年度 学校法人金城学園 事業報告

1、 法人の概要

(ア)設置する学校	幼保連携型認定こども園 金城幼稚園・保育園
(イ)園児定員（認可定員）	186 人（1号認定 81 人・2号認定 57 人・3号認定 48 人）
（利用定員）	130 人（1号認定 45 人・2号認定 50 人・3号認定 35 人）
園児実員	115 人（年平均）
(ウ)役員	別紙のとおり
(エ)教職員	38 名（常勤・非常勤・パート職員）
(オ)その他	
姉妹法人	社会福祉法人若葉会
姉妹施設（事業）	保育所型認定こども園わかば保育園 小規模保育事業わかば保育園 塩沢金城わかば児童館 放課後児童クラブ「金城クラブ」「わかばクラブ」 塩沢デイサービスセンターゆきつばき・居宅介護支援事業所ゆきつばき 雲洞デイサービスセンターつばき園・雲洞グループホームつばき園

2、 事業の概要

- (ア)幼保連携型認定こども園 金城幼稚園・保育園の運営
- (イ)国際理解教育・環境教育・英語教室・体操教室・スキー教室の充実
- (ウ)地域子育て支援拠点事業
- (エ)一時預かり事業
- (オ)その他付随する補助活動事業
- (カ)幼保連携型認定こども園における学校評価の実施
- (キ)幼保小連携の実施

3、 財務の概要

- (ア)平成 28 年度資金収支決算書

以上

平成28年度 施設別 年間事業報告
施設名(幼保連携型認定こども園 金城幼稚園・保育園)

項目	内容	具体的方策	結果(評価・反省)		
基本的な考え方	私たちは、地域の児童・高齢者の皆さまのより良い生活の実現を目指し、時代の流れの先にある私たちにしか担えないこと、私たちだから挑戦しなければならないことを適時・的確に捉え、自立した地域社会の一員としての自覚と、幼児教育と福祉サービスの先駆者としての誇りを持ち、果敢に提言、実践を行い地域の幼児教育と福祉の向上を図ります	キャリアパスを意識した人材育成を取り入れ、教職員の絆を深めつつ、地域に誇れる保育を実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパス並びにスモールステップを導入することができた ・そのことにより、個々の目標が明確になり、資質の向上につながった ・スモールステップを作成するに当たって評価の基準や保育の見取りについて園長・教頭・主幹保育教諭の考えが統一できるようになった ・自己点検・自己評価とキャリアパスそして昇給・賞与へのつながりを確立する 		
理念	一人ひとりの園児が持っているさまざまな能力・可能性を最大限発揮できるようにする				
	養護と教育とを一体とした適切で充実した保育を行う				
	一人ひとりの園児がこれからの長い人生を生きる勇気・知恵・やさしさを持てるよう直接的・基本的な体験をさせる				
年度基本方針	1	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム制により教職員間の役割分担を明確にすることで、円滑な連絡協力体制を確立する ・キャリアパスを取り入れ、教職員の指導援助に活かす ・「園の案内」およびマニュアル・園内マップを再確認し、教職員間の共通理解を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム制により担当が明確になり個々の役割を自覚を持って行えた ・ただし、育休者の分の埋め合わせができないチームが出てしまった ・キャリアパス並びにスモールステップにより目標の明確化ができ、個々の資質の向上につながった ・園内マップの完成より使い方が明確になった 	
		2	保育計画の精査	<ul style="list-style-type: none"> ・体操教室・リトミック教室・英語教室・環境しつけ講座等を定着充実させ、3歳以上児の効果的な年間指導計画を作成する ・ICT化推進事業により、保育業務効率化を図る ・幼保小連携研修を継続し、幼保小の滑らかな接続を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した各教室や講座内容となっているが、横のつながりを見通してみることが必要 ・ICT導入したが保育の効率化につながることは少なかった ・塩沢小学校との連携は充実した ・合同職員研修+保護者研修並びに実務連携が行えた
			3	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業の実施により在園児の育児支援を行う ・一時預かり事業の実施により在宅子育て家庭の育児支援を行う ・障害児保育の実施により、対象児の安全の保持および心身の順調な発達を促す ・家庭での親子の触れ合いのきっかけ作りのために、絵本貸し出しを行う ・保護者や地域住民からの教育・育児相談、地域の子育て支援活動等に積極的に取り組む
	数値目標			実績	来年度へ向けての方策
	目標120人/年平均	・職員の産休・育休者計3名となり、10月より0・1歳児は受け入れができなかった。		・年間平均在所率を利用定員の100%まで受け入れられるよう職員体制を整える	
	一時預かり事業年間利用者数100人	実績153人:対目標153%		・今年度も継続する	
	事故報告	事故件数	内容	対策	
		2件	<ul style="list-style-type: none"> ・バルーンで遊んでいたところ、バルーンの上に2名が上がった。危険なため保育者に注意され、降りようとしたところ、転び、床に唇を打ち付けた。園医を受診したところ、歯の亜脱臼と診断された。 ・高さ60センチほどの跳び箱を跳んだ際、着地に失敗し、左足関節捻挫 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての遊具や玩具を使用する際はクラス活動で落ち着いた場面で使用してから延長保育で使用する ・個々の予想される姿を把握し、並び順に配慮する ・運動遊びや固定遊具を使用する際は準備運動を行う 	